

平成21年度大気汚染調査結果

第1 大気汚染常時監視結果

1 調査期間

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

2 調査機関

愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市

3 調査区域及び測定局

6区域 46市町村（33市12町1村） 101測定局

（愛知県管理局57、名古屋市管理局28、豊橋市管理局7、岡崎市管理局5、豊田市管理局4）

区域	市町村名	測定局数		
		一般環境 大気測定局	自動車排出 ガス測定局	合計
名古屋区域	名古屋市、東海市、知多市、 飛島村（一般国道23号以南の地域）	20	13	33
東三河区域	豊橋市、豊川市（旧豊川市地域及び御津町地域）、 蒲郡市、田原市（旧田原町地域）	10	2	12
尾張区域	一宮市、津島市、犬山市、江南市、稲沢市、 岩倉市、清須市、弥富市、あま市、豊山町、 蟹江町、飛島村（名古屋区域以外の地域）	11	5	16
内陸区域	瀬戸市、春日井市、豊田市（旧豊田市地域）、 小牧市、知立市、尾張旭市、豊明市、日進市、 東郷町、長久手町	11	3	14
衣浦区域	半田市、碧南市、刈谷市、常滑市、大府市、 高浜市、阿久比町、東浦町、武豊町	10	1	11
その他区域	岡崎市、豊川市（旧一宮町地域）、安城市、 西尾市、田原市（旧赤羽根町及び旧渥美町地域）、 南知多町、美浜町、一色町、幡豆町、幸田町	11	4	15
計		73	28	101

（注1） 区域区分は、大気汚染防止法施行令別表第3の区域区分による。

（注2） 市町村名、道路は、平成22年3月31日現在のものである。

（注3） 測定項目は測定局によって異なる。

4 調査結果

環境基準が定められている二酸化硫黄等5物質の年平均値の経年変化をみると、近年、二酸化硫黄及び一酸化炭素が横ばい、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質が緩やかな減少傾向、光化学オキシダントがわずかながら増加の傾向にあります。

(1) 二酸化硫黄

ア 一般環境大気測定局

環境基準については、平成20年度に続き28局すべて達成しました。

全県年平均値は0.002ppm(20年度0.002ppm)です。

イ 自動車排出ガス測定局
環境基準については、平成20年度に続き3局すべて達成しました。
全県年平均値は0.003ppm(20年度0.003ppm)です。

(2) 二酸化窒素

ア 一般環境大気測定局
環境基準については、平成20年度に続き72局すべて達成しました。
全県年平均値は0.015ppm(20年度0.016ppm)です。

イ 自動車排出ガス測定局
環境基準については、平成20年度に続き28局中25局で達成し、達成率は89%でした。
全県年平均値は0.024ppm(20年度0.025ppm)です。

(3) 一酸化炭素

ア 一般環境大気測定局
環境基準については、平成20年度に続き2局すべて達成しました。
全県年平均値は0.4ppm(20年度0.4ppm)です。

イ 自動車排出ガス測定局
環境基準については、平成20年度に続き14局すべて達成しました。
全県年平均値は0.4ppm(20年度0.5ppm)です。

(4) 浮遊粒子状物質

ア 一般環境大気測定局
環境基準については、平成20年度に続き71局すべて達成しました。
全県年平均値は0.024mg/m³(20年度0.026mg/m³)です。

イ 自動車排出ガス測定局
環境基準については、平成20年度は28局中27局で達成し、平成21年度は28局すべて達成しました。
全県年平均値は0.026mg/m³(20年度0.029mg/m³)です。

(5) 光化学オキシダント

ア 一般環境大気測定局
環境基準については、平成20年度に続き67局すべて達成しませんでした。
全県年平均値は0.032ppm(20年度0.032ppm)です。

イ 自動車排出ガス測定局
環境基準については、平成20年度に続き9局すべて達成しませんでした。
全県年平均値は0.025ppm(20年度0.025ppm)です。

なお、平成21年度の光化学スモッグ予報等の発令日数は14日で、うち9日は注意報を発令しました。また、光化学スモッグによると思われる健康被害の届出が豊橋市で5月20日、6月26日に計733人ありました。

環境基準の達成状況

		二酸化硫黄 (SO ₂)			二酸化窒素 (NO ₂)			一酸化炭素 (CO)			浮遊粒子状物質 (SPM)			光化学 オキシダント (O _x)		
年 度		19	20	21	19	20	21	19	20	21	19	20	21	19	20	21
一般局	有効測定局数	28	28	28	72	72	72	2	2	2	71	71	71	64	67	67
	達成測定局数	28	28	28	72	72	72	2	2	2	44	71	71	0	0	0
	達成率 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	62	100	100	0	0	0
自排局	有効測定局数	5	3	3	27	28	28	16	15	14	27	28	28	9	8	9
	達成測定局数	5	3	3	24	25	25	16	15	14	19	27	28	0	0	0
	達成率 (%)	100	100	100	89	89	89	100	100	100	70	96	100	0	0	0
環境基準	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。 (昭和48年5月16日 環境庁告示)		1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。 (昭和53年7月11日 環境庁告示)		1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。 (昭和48年5月8日 環境庁告示)		1時間値の1日平均値が0.10 mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m ³ 以下であること。 (昭和48年5月8日 環境庁告示)		1時間値が0.06ppm以下であること。 (昭和48年5月8日 環境庁告示)							
評価方法	年間にわたる1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.04ppm以下であること。 ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 (昭和48年6月12日付け環大企第143号)		年間における1日平均値のうち、低い方から98%に相当する値が、0.06ppm以下であること。 (昭和53年7月17日付け環大企第262号)		年間にわたる1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が10ppm以下であること。 ただし、1日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 (昭和48年6月12日付け環大企第143号)		年間にわたる1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.10 mg/m ³ 以下であること。 ただし、1日平均値が0.10 mg/m ³ を超えた日が2日以上連続しないこと。 (昭和48年6月12日付け環大企第143号)		年間を通じて、1時間値が0.06ppm以下であること。 ただし、5時から20時の昼間時間帯について評価する。 (昭和48年6月12日付け環大企第143号)							

注1 一般局は一般環境大気測定局を、自排局は自動車排出ガス測定局を表す。

注2 1日平均値の評価に当たっては、1時間値の欠測が1日(24時間)のうち4時間を超える場合には評価対象としないものとする。

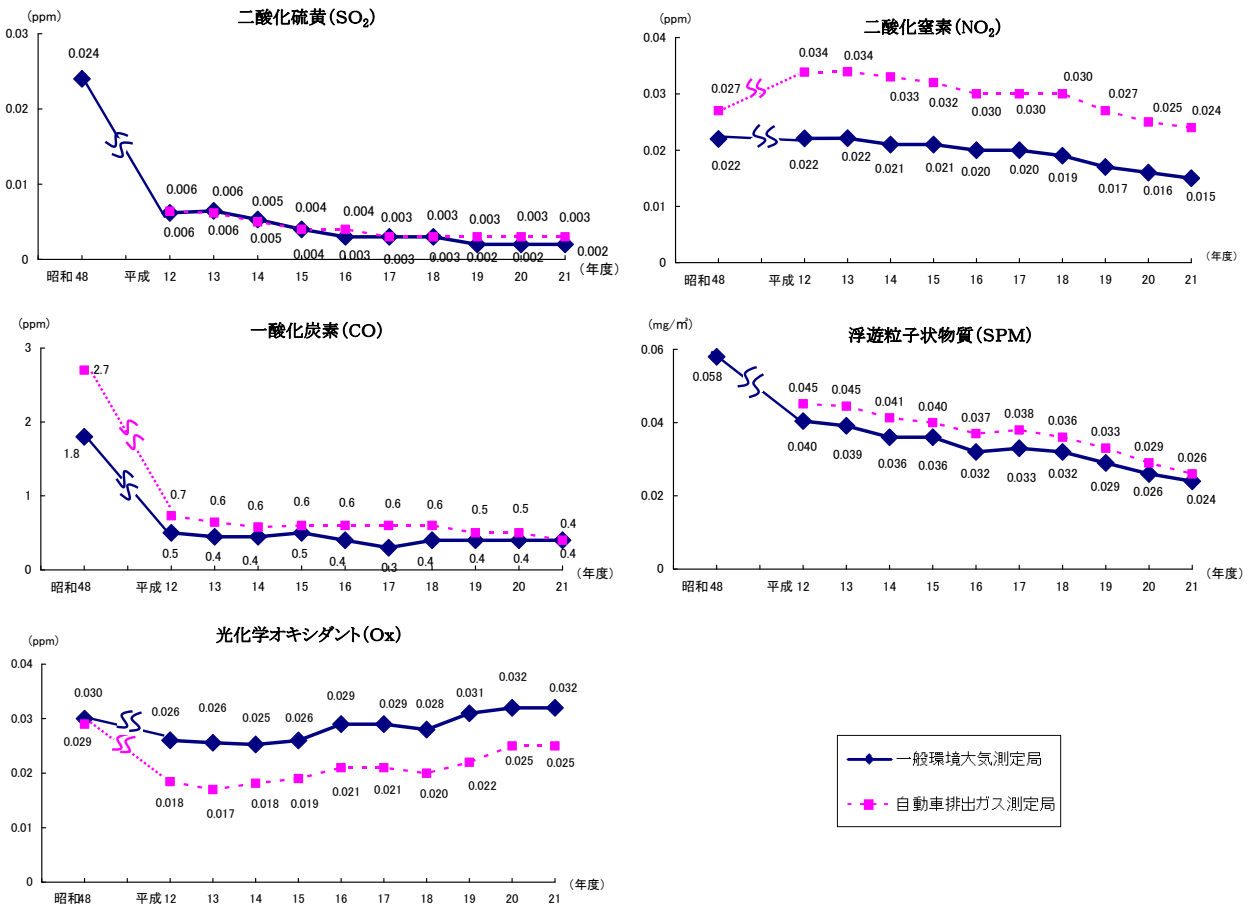
注3 有効測定局とは年間測定時間が6,000時間以上(光化学オキシダントを除く。)の測定局をいう。

全 県 年 平 均 値 の 経 年 変 化

物質名	局区分	項目	年度												
			48	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
二酸化硫黄	一般局	年平均値 (ppm)	0.024	0.006	0.006	0.005	0.004	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002		
		測定局数	51	82	79	78	32	31	29	28	28	28	28		
	自排局	年平均値 (ppm)	-	0.006	0.006	0.005	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003		
		測定局数	0	5	6	7	7	6	5	5	5	3	3		
二酸化窒素	一般局	年平均値 (ppm)	0.022	0.022	0.022	0.021	0.021	0.020	0.020	0.019	0.017	0.016	0.015		
		測定局数	21	74	75	77	72	72	72	72	72	72	72		
	自排局	年平均値 (ppm)	0.027	0.034	0.034	0.033	0.032	0.030	0.030	0.030	0.027	0.025	0.024		
		測定局数	11	14	15	17	22	24	26	27	27	28	28		
一酸化炭素	一般局	年平均値 (ppm)	1.8	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4		
		測定局数	18	30	30	30	4	4	3	2	2	2	2		
	自排局	年平均値 (ppm)	2.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4		
		測定局数	13	13	11	9	11	13	15	16	16	15	14		
浮遊粒子状物質	一般局	年平均値 (mg/m ³)	0.058	0.040	0.039	0.036	0.036	0.032	0.033	0.032	0.029	0.026	0.024		
		測定局数	51	83	83	82	71	71	71	71	71	71	71		
	自排局	年平均値 (mg/m ³)	-	0.045	0.045	0.041	0.040	0.037	0.038	0.036	0.033	0.029	0.026		
		測定局数	0	8	10	14	22	24	26	27	27	28	28		
光化学オキシダント	一般局	年平均値 (ppm)	0.030	0.026	0.026	0.025	0.026	0.029	0.029	0.028	0.031	0.032	0.032		
		測定局数	21	68	68	68	64	64	64	64	64	67	67		
	自排局	年平均値 (ppm)	0.029	0.018	0.017	0.018	0.019	0.021	0.021	0.020	0.022	0.025	0.025		
		測定局数	11	9	8	6	9	9	9	9	9	8	9		

- (注) 1 年平均値は、全測定局のうちの有効測定局について算出した値である。
 2 光化学オキシダントの年平均値は、昼間時間帯（5時～20時）における測定値の集計結果である。
 3 一般局は一般環境大気測定局を、自排局は自動車排出ガス測定局を表す。

環 境 基 準 の 定 め ら れ た 物 質 の 全 県 年 平 均 値 の 経 年 変 化



1 平成21年度環境基準非達成局の概要

(1) 二酸化窒素 (NO₂)

環境基準非達成局の状況

局区分	測定局	平成21年度			平成20年度		
		年平均値	1日平均値の年間98%値	環境基準の達成状況	年平均値	1日平均値の年間98%値	環境基準の達成状況
		(ppm)	(ppm)	(達成○・非達成×)	(ppm)	(ppm)	(達成○・非達成×)
自排局	元塩公園(南区)	0.036	0.062	×	0.037	0.061	×
	朝日(岡崎市)	0.039	0.061	×	0.042	0.064	×
	大平(岡崎市)	0.035	0.061	×	0.039	0.066	×
	※環境基準の評価方法	—	0.060以下	—	—	0.060以下	—

※詳細は3ページをご覧ください。

(2) 光化学オキシダント (O_x)

環境基準非達成局の超過時間別の状況

昼間の1時間値が0.06ppmを超えた年間時間数		1~100	101~200	201~300	301~400	401~500	501~600	601~700	701~800	801~900	901~1000	計
一般局 (測定局数)	21年度	0	2	7	10	15	18	7	6	1	1	67
	20年度	0	4	7	5	5	21	12	9	4	0	67
自排局 (測定局数)	21年度	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	9
	20年度	2	1	1	2	0	2	0	0	0	0	8

(注) 平成20年度の自排局は矢作(岡崎市)が全欠測のため8局。

2 全国大都市県の環境基準達成率の推移

(単位：%)

項 目	都 府 県 名		1 8 年 度	1 9 年 度	2 0 年 度	2 1 年 度
二酸化硫黄	愛 知 県	一般局	100	100	100	100
		自排局	100	100	100	100
	東 京 都	一般局	100	100	100	
		自排局	100	100	100	
	神 奈 川 県	一般局	100	100	100	
		自排局	-	-	-	-
	大 阪 府	一般局	100	100	100	
		自排局	100	100	100	
	全 国	一般局	99.8	99.8	99.8	
		自排局	100	100	100	
二酸化窒素	愛 知 県	一般局	100	100	100	100
		自排局	89	89	89	89
	東 京 都	一般局	100	100	100	
		自排局	62	76	85	
	神 奈 川 県	一般局	100	100	100	
		自排局	84	94	87	
	大 阪 府	一般局	100	100	100	
		自排局	87	95	100	
	全 国	一般局	100	100	100	
		自排局	90.7	94.4	95.5	
一酸化炭素	愛 知 県	一般局	100	100	100	100
		自排局	100	100	100	100
	東 京 都	一般局	100	100	100	
		自排局	100	100	100	
	神 奈 川 県	一般局	100	100	100	
		自排局	100	100	100	
	大 阪 府	一般局	100	100	100	
		自排局	100	100	100	
	全 国	一般局	100	100	100	
		自排局	100	100	100	
浮遊粒子状物質	愛 知 県	一般局	97	62	100	100
		自排局	93	70	96	100
	東 京 都	一般局	98	100	100	
		自排局	100	100	100	
	神 奈 川 県	一般局	95	100	100	
		自排局	77	100	100	
	大 阪 府	一般局	97	99	100	
		自排局	94	97	100	
	全 国	一般局	93.0	89.5	99.6	
		自排局	92.8	88.6	99.3	
光化学 オキシダント	愛 知 県	一般局	0	0	0	0
		自排局	11	0	0	0
	東 京 都	一般局	0	0	0	
		自排局	-	-	-	-
	神 奈 川 県	一般局	0	0	0	
		自排局	-	-	-	-
	大 阪 府	一般局	0	0	0	
		自排局	0	0	0	
	全 国	一般局	0.1	0.1	0.1	
		自排局	3.7	3.3	0	

(備考) 1 「-」は測定していないことを表す。

2 東京都、神奈川県、大阪府及び全国のデータは、各都府県及び環境省の資料による。

3 平成21年度の空欄は、未公表であることを示す。